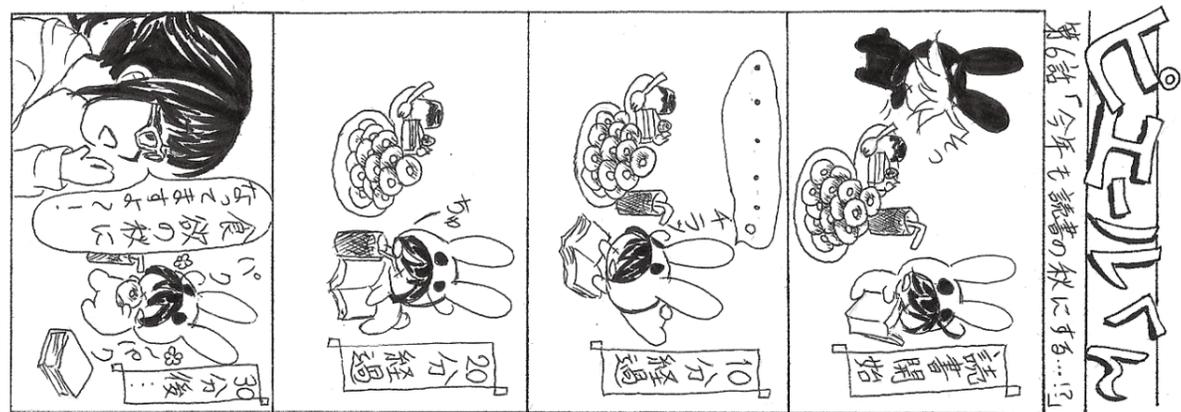


# LRP

Let's Read Project  
2011

# 読一楽



芸術学科2年 夕陽



デザイン 木下 弥



## Contents

はじめに	2
LRP プロフィール【その1】	3
LRP 2011 活動報告	4
5/20 「新入生歓迎本棚」2011 年度版公開	5
5/31 Counter 第4号発行	
7/8 「新入部員セレクション」本棚公開	6
7/8 「TRAVEL WITH BOOK 2011」本棚公開	7
8/4 Counter 第5号発行	9
8/19 神田古書店巡り	10
8/10・9/7 国際子ども図書館見学ツアー	11
10/14 「文学で読む美男美女」本棚公開	13
10/14 「文学で読む奇人変人」本棚公開	
11/14 コミック・アゴラ 2011 開催	14
11/25 Counter 第6号発行	
12/2 LRP ルームオープン	15
12/9 「お歳本」本棚公開	16
12/9 「SF Book」本棚公開	
1/11 「インドア VS アウトドア」本棚公開	17
1/26 Counter 第7号発行	18
2/10 第5回選書ツアー開催	
LRP プロフィール【その2】	19
Pick up Book 番外編	20
LRP プロフィール【その3】	24
勝手にポップ&ラクガキ大賞	25
LRP プロフィール【その4】	28
2011 年度を振り返って	29
4コマ漫画『ピエールくん』	裏表紙

## はじめに

Let's Read Project (LRP) は、2008年に活動を開始した若いサークルであるが、私が和光大学に入学した今年度には、既に円熟味を獲得していた。昨年度までの経験を活かした「TRAVEL WITH BOOK」や「コミックアゴラ」等の企画が増加してきたのは、LRPに「伝統」が生まれつつある証だろう。

そんな中、「SF Book」は今年度からLRPに参加したメンバーが主体となって実行した企画として注目される。新メンバーの一人として、この企画の成功が更なる野心的なアイデアの呼び水となる事を切に願っている。

さて、今までLRPは図書・情報館スタッフの御厚意により、事務室の一角を間借りして部室としていたが、今年度(2011年12月)図書・情報館2FのLRPルームに居を移した。これにより、従来より広く快適な環境下で、企画の準備や新聞『Counter』の編集、といった作業が行えるようになった。なお、学生メンバーの在室中にはLRPルームは外部に開放されている。本に関する情報を交換する一種のアゴラ(広場)的な場所として、学生の皆さんにも気軽に足を運んで頂けるようになれば幸いだ。

また、今年度本校において複数回開催された「ビブリオバトル」は、今では全国に広まっている書評会の形式であり、本学生はもとより一般からも参戦が可能である。通常の書評会とは異なり、投票によって「参加者が一番読みたくなった本」(チャンプ本)を決定するのがビブリオバトルの特徴であるが、ここで高い評価を得る為には、本に対する知識や愛情だけではなく、話術やプレゼンテーション能力といった、様々なファクターが必要とされる。逆に言えば、話術やプレゼンが得意な人ならば、日頃本に親しんでいるLRPメンバーをも上回る発表を行う事も可能なのである。ビブリオバトルは来年度も開催される予定なので、我こそは、と思う人はぜひ参加して頂きたい。

最初にも触れたが、LRPは今年発足四年目を迎えた。それに伴い、発足時のメンバーもその大半が、今年度限りで引退する事となる。しかし世代が変わろうとも、発足当初からの「本を読もう!」という活動目標が変化することはない。私たちLRPは、これからも本を愛する全ての学生と共に、人と本との幸せな出会いを求め、また他の人にもその「おすそわけ」をするために活動していく所存である。

どうか皆さんに「本」との素晴らしい出会いがあらんことを。

総合文化学科1年 致遠



作：総合文化学科2年 微炭酸黒鉛

## 無記名希望 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………4年
- ◆好きな本…………不特定多数
- ◆好きな作家……津守時生・小野不由美  
西尾維新・日下公人など
- ◆好きな音楽……アニソン
- ◆趣 味…………睡眠・読書

## 九代目 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………4年
- ◆好きな本…………遠い海からきたクー  
絡新婦の理
- ◆好きな作家……京極夏彦・熊谷達也  
成田良吾
- ◆好きな音楽……RADWIMPS・COCCO  
BUMP OF CHITKEN
- ◆趣 味…………クライミング・和太鼓・手  
芸・焚き火・茶道・カラオケ・イラストを  
描く・読書・七頭舞・武術(柔道・中国拳法)・  
三つ編み・アウトドア・猫

## 美墮落先生 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………4年
- ◆好きな本…………アラン『幸福論』・兼好法師  
『徒然草』・ニーチェ『ツアラトウストラ』・  
柏木如亭『詩本草』
- ◆好きな作家……柏木如亭・西山宗因・アラン・  
ニーチェ・兼好法師・寺田寅彦
- ◆好きな音楽……J-POP (SDN48)
- ◆趣 味…………読書・音楽鑑賞・美術鑑賞・  
アイドル (SDN48) の追っかけ (AKB48  
劇場での公演、握手会)・ドライブ・ツイッ  
ター

## 彪 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部芸術学科
- ◆学 年…………3年
- ◆好きな本…………ファンタジー系
- ◆好きな作家……有川浩・葉山透・茅田砂胡・  
前田栄・海原育人・上橋菜穂子・小野不由美・  
森山権
- ◆趣 味…………散歩・読書

## 御膳 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………3年
- ◆好きな本…………原田宗典『はたらく青年』
- ◆好きな作家……西尾維新
- ◆好きな音楽……ロック
- ◆趣 味…………散歩

## 微炭酸黒飴 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………2年
- ◆好きな本…………アライバル
- ◆好きな作家……太宰治
- ◆好きな音楽……YUKI
- ◆趣 味…………猫と遊ぶ・寝る

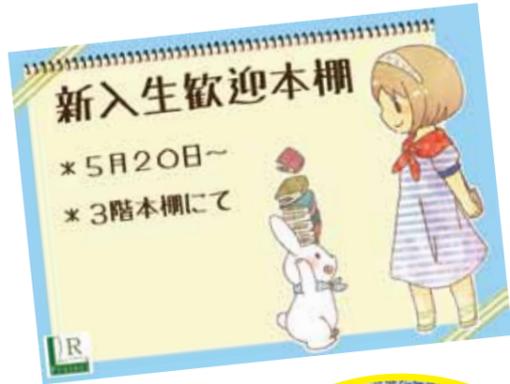
## LRP 2011年度 活動報告

- 5/20(金) 「新入生歓迎本棚」2011年度版公開
- 5/31(火) Counter 第4号発行
- 7/8(金) 「新入部員セレクション」本棚公開  
「TRAVEL WITH BOOK 2011」本棚公開
- 8/4(木) Counter 第5号発行
- 8/19(金) 神田古書店巡り
- 8/10(水)・9/7(水) 国際子ども図書館見学ツアー
- 10/14(金) 「文学で読む美男美女」本棚公開  
「文学で読む奇人変人」本棚公開
- 11/14(月) コミック・アゴラ 2011 開催
- 11/25(金) Counter 第6号発行
- 12/2(金) LRP ルームオープン
- 12/9(金) 「お歳本」本棚公開  
「SF Book」本棚公開
- 1/11(水) 「インドア VS アウトドア」本棚公開
- 1/26(木) Counter 第7号発行
- 2/10(金) 第5回選書ツアー開催

Let's Read  
Project

5  
20

### 毎年恒例「新入生歓迎本棚」2011年度版公開



2011年度最初の本棚も、やっぱりこれ!春休み中に「選書ツアー」を実施し、先輩メンバーが厳選した本に楽しいPOPをつけて、ディスプレイしています。今回もかなりバラエティ豊かです。きっと、あなたのお気に入りが見付かります!ポスターは、新入生も作ってくれました。



7  
8

### 新たに入った部員の選書による、「新入部員セレクション」本棚を公開

今年も、「新入生歓迎本棚」に応じて(?)2011年度新たに加わった新入メンバーが、館内のたくさんの本の中から、各自5冊~10冊程度を選び、POPも手作りして、棚をつくりました。



5  
31

### 新聞「Counter」第4号発行

新年度になり、ますます充実する「Counter」を、どうぞご覧ください。

第4号から  
オススメの  
記事を抜粋

★一冊の本から★ 本を食す! ★一皿の料理★

☆今回の料理☆  
クロケット定食

『つむじ風食堂の夜』  
吉田篤弘 / 筑摩書房

★材料★  
じゃがいも 2個  
玉ねぎ 2分の1個  
牛ひき肉 70g  
バター 適量  
塩コショウ 適量  
小麦粉、溶き卵、パン粉 適量  
温野菜、季節のスープ、ライス 好きなだけ

★このシーン★  
件の丸皿に載ってあらわれるのは、おなじみの方錐形をしたコロッケにあらず、棒状に近いかたちをした細長俵型の「クロケット」である。

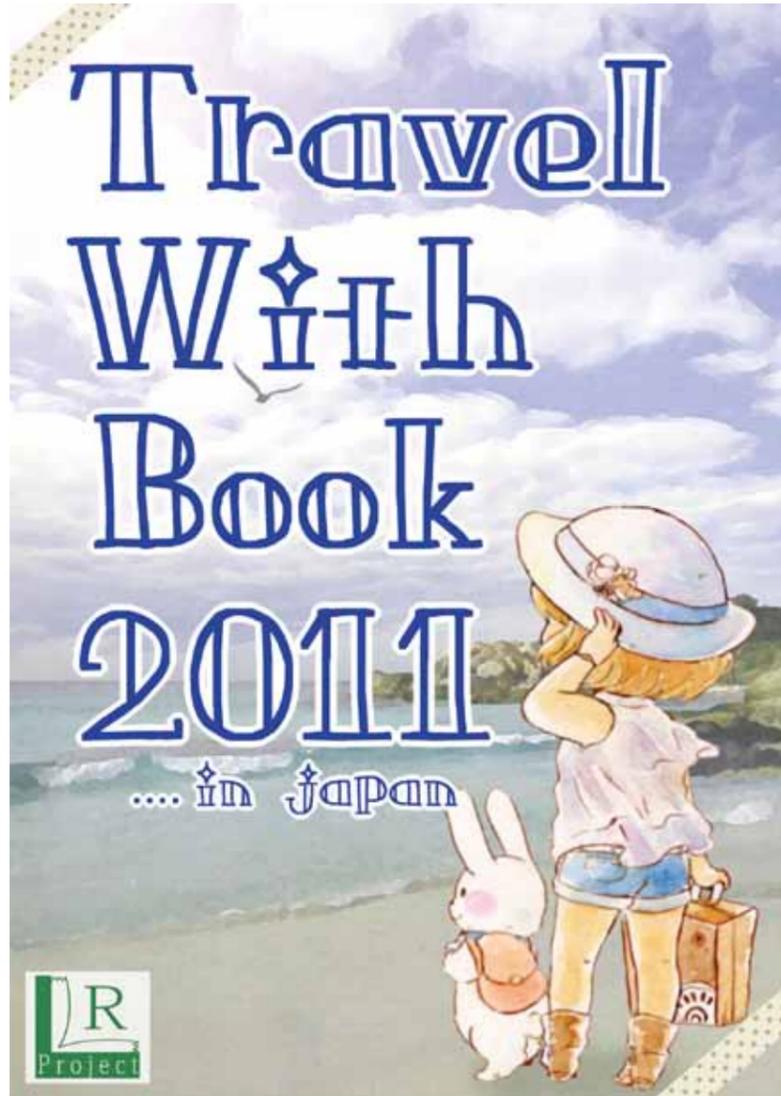
★作りか★  
1. じゃがいもを煮て、つぶす。  
2. 玉ねぎをみじん切りにして、バターを溶かしたフライパンで炒める。  
3. 玉ねぎが透き通ったら牛ひき肉を加えて更に炒める。塩コショウを入れる。  
4. 粗熱を取ったら1と混ぜ合わせる。  
5. 生地を6等分にして俵型に成型する。  
6. 小麦粉をまぶし、溶き卵にくぐらせて、パン粉をつける。  
7. 油を165~170度に熱し、揚げる。  
8. 想像に任せて盛り付ける。  
温野菜と季節のスープとライスを添える。



選書した本をプレゼンする新入部員たち。

今年度は国内版で。「TRAVEL WITH BOOK 2011」本棚公開!!

昨年度、世界各国の情報とそれに関する本を集めた「TRAVEL WITH BOOK 2010」。2度目となる今年度は国内版になって戻ってきました!  
夏休みを目前に控えての企画。国内旅行の参考にと、メンバーお気に入りの地域や都道府県の手作り「旅行ガイド」とともに、それぞれの地方に関連する本を集めました。



今年度も力作揃い!! ★★★★★

ポイントが **ご当地ヒーロー**

**青森が生んだ作家 太宰治記念館**

**青森 AOMORI**

青森県ご当地ヒーロー 『跳神ラッセイバー』  
青森の平和を守るための象徴(ごうしゃく)の掛け声と共に青森最強のヒーローに変身するのだ!!

「斜陽館」  
明治の洋風建築の宝庫。大正時代、青森県庁の庁舎として使われていた。現在は、青森県立美術館の展示場として使われている。

**静岡県**

「とろろ汁元相丁子屋」  
静岡県の歴史を伝える「とろろ汁」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「中助助文学記念館」  
静岡県の歴史を伝える「中助助文学」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「茶神888」  
静岡県の歴史を伝える「茶神888」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

**沖縄**

「琉球舞踊」  
沖縄の伝統文化「琉球舞踊」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「琉球料理」  
沖縄の伝統文化「琉球料理」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

**東京下町**

**浅草寺**  
東京都台東区。東武東上線浅草駅より徒歩5分。浅草寺は、江戸時代から浅草を代表する観光地。浅草寺の境内には、浅草寺の歴史を伝える多くの文化財が保存されている。

**東京スカイツリー**  
東京都墨田区。浅草駅より徒歩5分。東京スカイツリーは、高さ634メートルの自立式電波塔。東京スカイツリーは、東京のシンボルとして知られている。

**茨城県**

「水戸黄門」  
茨城県の歴史を伝える「水戸黄門」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「水戸黄門」  
茨城県の歴史を伝える「水戸黄門」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

**福島県のいわき市**

「いわき市」  
福島県の歴史を伝える「いわき市」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「いわき市」  
福島県の歴史を伝える「いわき市」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

**新潟**

「新潟県」  
新潟県の歴史を伝える「新潟県」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

「新潟県」  
新潟県の歴史を伝える「新潟県」の元相丁子屋。創業400年、伝統の味を守り続けている。

旅行ガイドはこっち



特集

ビブリオバトルについて  
「本好きの魂、揺らしてやんよっ!!」

読者の皆様、「ビブリオバトル」を御存知でしょうか。最近、各方面のメディアに取り上げられている本のプレゼンゲームです。

手順は簡単、①お気に入りの本を持って集まる！（テーマを設定する事もあります。例：「もし無人島に1冊もっていくなら？」など）②順番に1人持ち時間5分で紹介する！（+2～3分の質問タイム）③「どの本を1番読みたくなったか？」で投票を行い、「チャンプ本」を決める！……というものです。レジュメもパワーポイントも使わない、アドリブだけで本の魅力を紹介していくことが最大の特徴です。

「でも、『面白い』と思う本を好き勝手紹介して盛り上がるのか？」という疑問を持つ人もいるとおもいます。ですが、心配無用！長くグループで開催している方の話を聞くと、「チャンプ本に選ばれるためには、みんなが興味のある本でないと難しい。なので、各自が自然と「みんなが好きそうな面白い本」を持ってくる努力を始める」とのこと。

もうひとつ、例えば、同じ映画を見ても、自分と友達では正反対の感想が出てきたりすることってありますよね。その時、「こんなところを面白いと思うんだ」と友人の意外な一面を発見した経験はありませんか？

本に限らず、人によって「ここが面白い」というポイントは違うものです。

5分という制約のなかで本を紹介することで、本の魅力も、紹介する人の人柄も自然と出てくるのです。キャラが立つのです！

さらに、バトルを続ける事で、プレゼン能力が飛躍的に向上します。（遠目には就活にも効果的v）

ビブリオバトルは、2007年に、当時京都大学に赴任していた谷口忠大さん（現在、立命館大学准教授）が「輪読会でも論文紹介でもない、何かイ本に出会える面白い仕組みはな

いだろうか」と考えたことで始まったものです。

京都・大阪・奈良の関西圏から名古屋に飛び火し、2010年に紀伊国屋新宿南店で予選大会が開催されたことで、一気に広まりました。現在では全国各地でグループの大小問わず、開催されています。

私自身、過去に紀伊国屋さんとLRPで行った学内でのビブリオバトルに参加しています。アドリブで話すためか、自分でも思いもよらない言葉が出てきて、驚くことがたくさんあります。また、聞いてくださる方からも、知っている本なら「あー、それ!!面白いんだよねえ」。知らない本なら「え？知らない。それ何？」という反応があるので、しゃべっていて楽しいのです。LRPでは5月と6月に試験的実施をはじめ、好評をいただいています。

夏休み明けのバトルから本格的に開放します。ご興味あれば、ぜひ観にいらしてください。また、そのほかの質問や参加してみたい……などありましたら、図書・情報館 (library@wako.ac.jp) までどうぞ。ご連絡お待ちしております。

(心理教育学科2年:猫子)



ビブリオバトル公式サイトはこちら  
<http://www.bibliobattle.jp/>



第5号から  
オススメの  
記事を抜粋

**読書日和** ⑤ **義経の本棚**

自分の本棚という記事ですね。私情ですが、先日買った本が百冊目になりました。念願の三桁に到達し、心が晴れ晴れしています。

百冊目の記念になった本が写真の一番左の『空が青いから白を選んだのです』という詩集です。この本は少年院の受刑者が書いた詩が載っており素朴な書き方、彼らの心情が胸を打ちました。

次は長田弘さんの『ねこに未来はない』という本です。この本の中身は猫嫌いな作者が猫を育てる奮闘記で猫の強さや愛らしさが書かれた猫好きにお勧めの本です。

どの作者の本が多いか、気になって数えたら、一位が八冊で海堂尊。二位が七冊で辻仁成。三位が五冊でママチャリと内田康夫でした。見事なまでにてますね。大好きな作家が一位でなく二位なのが残念ですが、僕は基本的に作者より漁り買いや安いから買うという変な趣向をしてました。その分当たり外れが多いですが、本屋や古本屋をぶらつくのは楽しいですね。そういう読書もたまにはいかがでしょうか。

(経済学科1年 義経)

古書店に詳しいスタッフの知識をもとに、古書店に興味のある学生メンバーが集まり、神田古書店街ツアーを行いました。

2011年8月19日、台風が近づく雨模様の中、学生メンバー4名とスタッフ3名が参加しました。歴史を感じさせる老舗の古書店から、サブカル専門の古書店など、5～6件の古書店を巡りました。そして東京古書会館では、一般向けに定期的に行われる古書の展示販売会にも参加、掘り出し物を見つけた学生メンバーもいたようです。

奥深い古書店街の雰囲気を満喫できた1日でした。



メンバーの感想

はじめは、店頭で並んだ古本の値段に無暗に怯え畏怖の念を更に強めた。しかし漫画中心の古書店に入り本棚を物色しているうちに、憧れの古書店街に親しみも覚えた。(御膳)

世界最大の古書店街で、長年探し求めていた多岐川恭の『イブの時代』を発見。喜び勇んで値札を見ると、そこには5212という数字が……。絶妙な価格設定に感動しつつ、店を後にしました。(致遠)



人生で初の神田神保町、憧れの古書店街。印象に残ったのは、三省堂本店にある、オンデマンドと呼ばれる自費出版のシステムと、「ぐろりあ展」でみた雑誌「is」(イズ)。上野千鶴子『スカートの下の劇場』に収録される元の文章が載っていて、思わず手に取った。その後のランチョンでのビールと、本談義も面白かった。(猫子)

国際子ども図書館見学ツアー



国際子ども図書館は、我が国唯一の国立の児童書専門図書館として2000年に設立、2002年に全面開館されました。また、明治39(1906)年に帝国図書館として建てられた明治期ルネサンス様式の建物を再生・利用したとして、東京都選定歴史的建造物に指定されています。  
<http://www.kodomo.go.jp/index.html>

2011年度の夏の見学ツアーは、上野にある国立国会図書館の分館、国際子ども図書館に行ってきました。ツアーは、8月10日・9月7日の2回に分かれて行われ、2回で学生メンバー13名とスタッフ5名が参加しました。



当日は、国際子ども図書館のスタッフの案内のもと、子どもたちが自由に本を読むことのできる「子どものへや」をはじめ、国内外の児童書とその関連資料を集めた資料室を見学しました。また、普段は立ち入ることのできない書庫も特別に見せていただきました。歴史的建造物と最新の設備が融合された、ゆったりとした空間でのひとときを過ごすことができました。



メンバーの感想

たくさんの絵本・児童書、歴史を感じる書架と建築物…素敵な読書空間が広がる図書館。自分にこどもが出来たらここで一緒に本を読みたいと思いました。近隣の博物館や美術館も気になるスポット！ (はなか)

建物を見て驚いてしまった。まるでオペラ座館のような雰囲気、ここは本当に図書館なのかと思ってしまった程です。館内はお城のような、赤いカーペットに見事なガーデンがありました。扉を潜るとそこには本が、当たり前ですが無数の本がありました。もちろん無邪気に本を読んだりしている子ども達の姿がありました。児童書以外にも歴史ある古本、海外本など様々な種類の本があり、その数に呆気にとられてしまった程です。古びたレンガや少々斜めった窓枠がどこか昔を感じさせられる雰囲気を醸し出していました。まさにお城。そのお城の中で様々な本を読む事ができるこの幸せ感は滅多に感じる事の出来ない特別なものでした。(ドルハ)

今回見学ツアーで見せていただいたバックヤード、書庫は、何よりも蔵書に優しい場所だった。湿度も温度も本の保存を第一に考えた仕様、重量の問題で電動ではなく手動式の移動書架。ストイックな基礎部分があるからこそ、国際子ども図書館は魅力的な場所になっているのだろう。(御膳)

徹底的に「子どもが利用する」ことを考えて作られた図書館だと感じた。品格のある洋館を、元の建物の良さは残しつつ、利用もしやすい場所になっている工夫は素晴らしいものがある。並べられた絵本や児童書も、見ていて懐かしかった。(猫子)



今回、国際子ども図書館での感想は、案内の方がとても詳しく、しかし面白く案内してくれた点が印象に残っている。数々の蔵書や資料は、きっちり分類されていて、さすがは国立の図書館である。また行く機会があるのなら、ぜひ案内をお願いしたい。(幽兎)

絵本好きとして恥ずかしながら、国際子ども図書館に行くのは初めてでした。印象に残ったのは、やはり子どもの部屋です。私が幼いころに読みこんだ絵本や、有名、マイナーな作品までずらりと並べてありました。その並べ方にもこだわりが感じられて、勉強になりました！あとは読み聞かせに大人が付き添うことができないという決まりに、少し驚きました。私が幼いころにも来てみたかったと思いました。(夕陽)



国際子ども図書館を訪ねて、まずその外観に圧倒された。歴史的建造物というだけはある。数々の資料や、本はひとつひとつ丁寧に保管されていて、非常に好印象だった。子ども図書館に行く機会がある人は、大階段は必見である。(冬夜)

「子ども」とか銘打っているくせに、大人も楽しめる本が沢山置いてありました。具体的にいうとロシア語版の『フーリンの息子達』を見つけて「何で邦訳が出ないんだー」と、怒り狂ってました。邦訳が出た暁には速攻で購入して積ん読の棚に…。やっぱり日本語版なくていいです。(致遠)

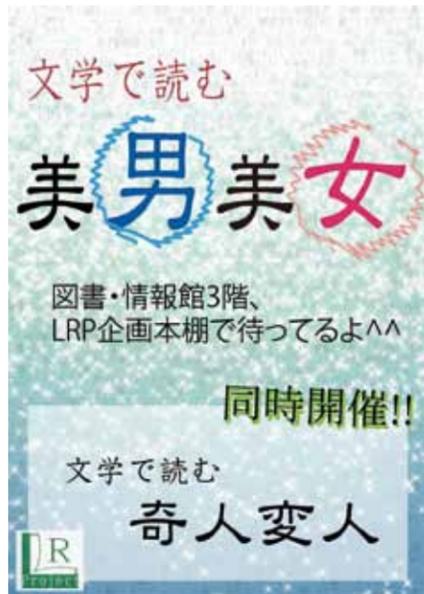


普段は絵本を読まないのですが、国際子ども図書館の見学ツアーに参加して、好きな絵本と出会うことができました。(微炭酸黒飴)

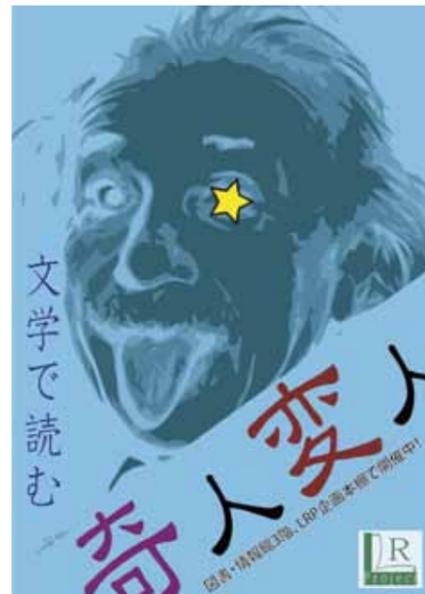
普段…というか昔から絵本ばかり読んでるから、とてもわくわくした。絵本がわんさか置かれた「子どもの部屋」、私が読んだことのある絵本がずらりと並んでいて、内心にやにやにやっていた。絵本はいい。和光にももっと絵本を置いて欲しいものだ。(びぐめん)

10  
14

「文学で読む美男美女」本棚 &  
「文学で読む奇人変人」本棚公開



LRP 久々の本棚企画は、ダブルで登場しました。読書の秋、本に親しみを持ってほしく、企画しました。洋の東西を問わず、文学作品には数多くの美男美女が登場します。そして、同様に、読者を虜にするような、「魅力的」な奇人変人も……。今回は、一見相反するようこの2つの企画を同時開催しました。横並びで展示だったので、見比べても楽しいものばかりでした。

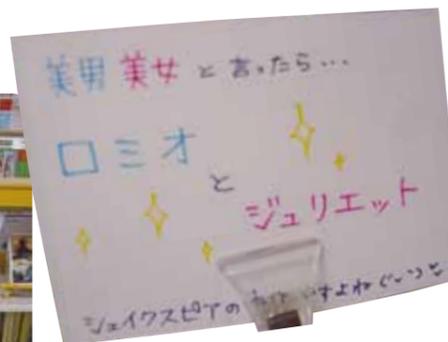


11  
14

今年も開催！  
コミック・アゴラ 2011



今年度も開催！メンバー有志の持ち寄りコミックを3Fフリー閲覧スペースにて公開。今年度は、3回目にして初めてテーマを設けました。そのテーマは…「恋愛」と「人外」。コミックにとって王道のテーマ「恋愛」と、「人外」、つまり人ならぬ者、妖怪、幽霊などが出てくるコミックと、今回もバラエティ豊かな作品が集まりました。



11  
25

新聞「Counter」第6号発行



\*監督:ジャン・ピエール・ジュネ

主人公は、幼いころに地雷で父を亡くし、その後大人になって発砲事件に巻き込まれ、頭に銃弾が残ってしまった男、バジル。ホームレス状態の彼は、路上で声をかけてきた「ギロチン男」と名乗る人物の誘いで、彼の「コミュニケーション」に連れて行かれます。そこで出会った「人間計算機」「言語オタク」「軟体女」……はみ出し者たちの暖かいもてなし。自分の居場所を見つけたバジルは、そこでの生活に慣れていきます。ある日、バジルは父を亡くした地雷と、自分の頭の中にある銃弾を作った会社を見つけます。そして、この2つの会社に「復讐」しようと思いが……。 愉快的仲間たちとの抜群のチームワークを楽しみ、美しい映像と、ちりばめられたブラックユーモアに酔う。平和を愛する全ての人へ贈る、上質なフランス映画。

(心理教育学科2年 猫子)

Favorite Song♪

『letter song』～初音ミク

紹介する音楽はボーカロイド!この単語でお察しの方、お目が高い!ボカロ大好き人間です。数ある中でこの letter song を選びました。この曲は説明するより聞いた方が早いのかも(笑) 恋、過去、未来に向けて書かれた歌詞に、メロディーに涙を流してしまいます。何かをやり遂げた時、挫折した時、誰かがいなくなった時、この曲を聞いてみてください。いやいやwボカロとかあの機械声ムリーwwwとか思ってるそこのあなた!そしてこの記事を見ているそこのあなた!これを期に是非 Let's りっすん♪

(総合文化学科2年 ドルハ)

第6号から  
オススメの  
記事を抜粋

徒然雑記

「ちやうの話」 「ちやうを飼う話があつて」と友人が切り出したのは古書店の前でした。私は「はあ」とだけ言いました。「液に漬けて飼うんで」「蝶をう」「内臓を」「それは…大変だね」 そうでもないよ、と友人は言いました。この人は昔から、本の話をする時にまるで見てきたような話をする人でした。「この腸をね、段々と慣らしていくんです」ここまで聞くともう気になって、「それで」と私はせがみました。「それでね」語り部という人々は、きつとこういう人種なのだと思えます。奇態な事を、隣家の火事のように語るのです。妙にリアルな腸の話に、私は身構えてまた聞きましました。「それで」。

(総合文化学科2年 坂上周二)

LRP ルームオープン!!



2008年度より活動を続けてきたLet's Read Project. LRPの活動拠点として、図書・情報館2FにLRPルームを開設しました。看板が出ているときは、学生メンバーが在室しています。和光の学生で、LRPの活動に関心のある方は、ぜひメンバーに声をかけてみてください。



お引越しの様子。ここにも思い出がたくさん詰まっています。

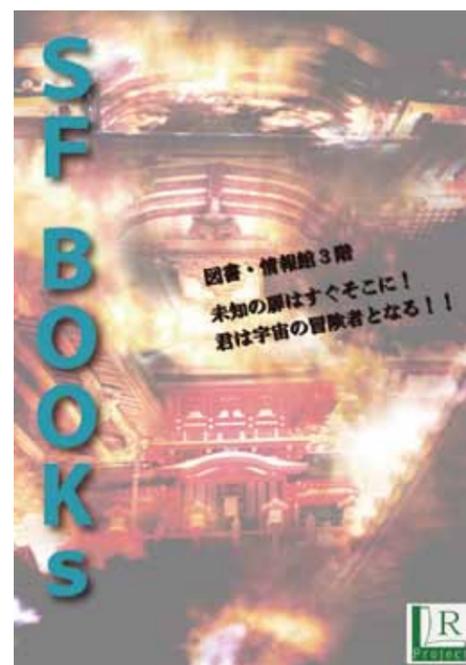


「お歳本」 & 「SF Book」 本棚公開

2011年最後の本棚企画も、ダブルで登場！  
年末の慌ただしいひととき、ぜひ立ち寄って欲しい企画でした。



日頃お世話になっている家族や友人やその他の皆さんへ、感謝の気持ちを込めてお届けする本のお歳暮。  
「お歳暮」+「本」=「お歳本(おせいぼん)」！それぞれに付いているお勧めPOPもオリジナルで作りました！



もう一つは、SF好きのメンバー発案の「SF Book」。SFと一口に言っても、その世界は幅広く、今回の企画は本人が「SFだ!」と言えばOKというもの。この機会に、SFの深遠な世界に触れてみては？



1  
11

## 2011 年度最後の本棚 「インドア VS アウトドア」本棚公開



LRP 今年度最後の本棚企画は、対決企画でした。休日の過ごし方は人それぞれ。あなたは、おうちで楽しむ「インドア」派？それとも、外へ飛び出す「アウトドア」派？「インドア」「アウトドア」それぞれに分かれ、メンバー各々の独断と偏見により、本を選びました。よくある企画と侮るなかれ、ふたを開けてみると、何だか奇妙な感じになりました。「これってインドアか？」「アウトドアの概念が覆された！」なんて声も聞かれそうです。もう春はすぐそこ。どこかお出掛けしてみませんか？ぜひ楽しんでみては？



1  
26

## 新聞「Counter」第7号発行



福島聡  
エンターブレイン  
2011 年度を代表するマンガというと、「この漫画がすごい」で1位をとった「ブラックジャック創作秘話」を思い出す人が多いかもしれない。しかし、あえて私は「星屑ニーナ」を推したい。福島聡は「機動旅団八福神」や「少女少女」が有名だが、最新作である「星屑」は言ってみればSF映画のような漫画で展開が大きく、テーマ性が強い。そしてポップかつ重すぎず、オムニバスに近い形式をとっているためSFが苦手な人でも読みやすい。現在2巻まで販売されているが、巻ごとでテーマ性が異なるのも面白い。今後、結婚し子供を授かるすべての人に読んでほしい。  
(総合文化学科2年 エミーリエ)

今年度はテンポ良く7号まで発行できた「Counter」。来年度も新しい企画を取り入れたりと、より一層充実した内容に出来るよう、頑張っていきたいと思います。

第7号から  
オススメの  
記事を抜粋



『瞑想の郷』は、チベット・ネパール仏教美術を中心とした日本唯一の公立テーマパークであり、二つの展示館「瞑想の館」「瞑想美の館」を持つ。本館最大の展示品であるネパール人絵師が手がけた4m四方の巨大仏画6枚は常設展示されている。中でも「瞑想美の館」に展示されているチベット仏教様式で描かれた金剛界・胎藏界の両界曼荼羅は日本のみならず世界でも唯一の作例である。  
アクセス：JR越中八尾駅よりバスで約1時間4分（総合センターで乗換）  
開館時間：9時～16時 休館日：毎週水曜日（冬季は積雪のため閉館）

2  
10

## 第5回 選書ツアー開催！



来年度入学する新入生のための選書ツアーを、学生メンバー17名、スタッフ5名の参加で実施。紀伊国屋書店新宿本店で行いました。今回は文庫本と大型ビジュアル本を含む10冊程度を各自が選書しました。選書後は、紀伊国屋書店の会議室をお借りして、恒例の「プレゼン」（他のメンバーに自分の選んだ本のセールスポイント等をアピール）も行いました。この本が、4月に本棚に並びます！ウェルカム新入生！



番外編

## Pick Up Book

『Counter』に掲載中の、メンバーおすすめの本を紹介するコーナー「Pick up Book」。その番外編として、LRP レポート用に紙面とは別におすすめの本を紹介してもらいます!! いろいろと語りたことがある中、簡潔に本を紹介するのも、LRP に入ったからその課題だったりします。少しでも興味を持った本があれば、是非、読んでみてください。

## 猫子 (ペンネーム)

- ◆学部学科……現代人間学部心理教育学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本……有川浩『海の底』・都築響一『着倒れ方丈記』・主に猫やファッションを扱っている本全般(雑誌を除く)
- ◆好きな作家……有川浩・梨木香歩・北村薫・都築響一・中野香織
- ◆好きな音楽……Lady Gaga (My Mother Monster!)・菅野よう子(引き出しの多さと・細胞から喜べる音楽づくりが好きですアイシテマス。)
- ◆趣 味……読書(笑)・らくがき・映画鑑賞・ビブリオバトル

## みつこ (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部芸術学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本……プラネタリアムのふたご
- ◆好きな作家……いしいしんじ
- ◆好きな音楽……ボーイソプラノ
- ◆趣 味……ゲーム

## ぴぐめん (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部芸術学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本……竜退治の騎士になる方法 ひとりぼっち?
- ◆好きな作家……たむらしげる・岡田淳
- ◆好きな音楽……BUMPOFCHICKEN・ねごと
- ◆趣 味……人間観察・グーグル先生にくだらない質問をする

## てふてふ (ペンネーム)

- ◆学部学科……現代人間学部心理教育学科
- ◆学 年……3年生
- ◆好きな本……アガサ・クリスティー「そして誰もいなくなった」
- ◆好きな作家……貴志祐介
- ◆好きな音楽……BIGMAMA
- ◆趣 味……雑誌集め

## キセキ (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部芸術学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本……告白・容疑者Xの献身・悪人・パレード・模倣犯・クロスファイア・バムケロシリーズ・ハンターハンター・ワンピース
- ◆好きな作家……東野圭吾・湊かなえ・宮部みゆき・山田悠介・吉田修一・北川悦史子・手塚治虫
- ◆好きな音楽……Mr.Children・BUMP OF CHICKEN・斉藤和義・辻詩音
- ◆趣 味……映画鑑賞・ボーリング・カラオケ・劇を観に行く

## 夕陽 (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部芸術学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本 死神の精度・風が強く吹いている・おいしいコーヒーの入れ方・あしたもあそぼうね etc…
- ◆好きな作家……伊坂幸太郎・三浦しをん・いもとようこ etc…
- ◆好きな音楽……高橋直純・藤田麻衣子・いきものがかり・あらゆるキャラソン
- ◆趣 味……フリーペーパーを眺めること・写真・ゲーム・イラスト・製菓・読書 etc…

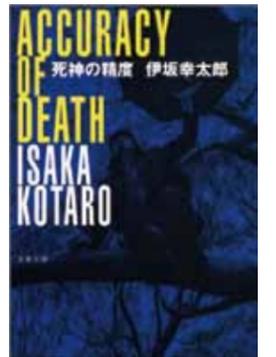
## はなか (ペンネーム)

- ◆学部学科 表現学部総合文化学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本……絵本・童話・旅関係の本
- ◆好きな作家……宮沢賢治・川上弘美・池田あきこ・山田詩子
- ◆好きな音楽……いきものがかり
- ◆趣 味……大学パンフレット収集・友達のものまね

## 『死神の精度』 伊坂幸太郎/文藝春秋/345p

死神の千葉は、指定された人間の死を見極めるのが仕事だ。死神であるからか死についてあまり興味のない千葉と、六人の人間との物語がつづられている。一話完結のような構成でできているので、とても読みやすい。しかし、一話完結のようにできているが、六つの物語が繋がっていることの面白さがある。

(芸術学科2年 夕陽)



## 『STYLE from TOKYO』 シトウレイ/ディスカヴァー・トゥエンティワン/176p

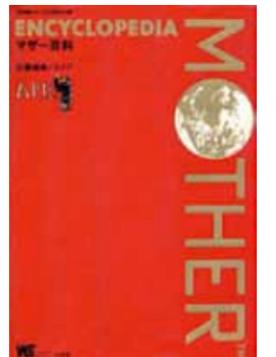
21世紀。私たちは、「何を着ても許される」時代に生きている。日本のファッションは一定の独自色がある。洋服文化の下地が浅い分、「何を着るか」ではなく「どう着るか」が人々のあいだでより深く考えられているのではないかと、著者：シトウレイは言う。いわゆる「ファッションナブルな人」を撮った「ファッションスナップ集」だけど、「私はファッションナブルなよ」という嫌味はない。著者の鋭い人間観察眼に嫉妬を覚えてしまい、「嫉妬するなんて私は醜いのではないか…」という錯綜した気持ちすら感じる。写真に写っている人たちは、夢に向かって進んでいたり悩んでいたりしている。著者は人が持つ、あらゆる種類のまぶしい気持ちをすくい取るのがうまい。気になった人はブログを見てみるのもおすすめ。この本に入りきらないぐらい、世の中に素敵な人はたくさんいるのだ。

(心理教育学科2年 猫子)

## 『マザー百科』 エイブ/小学館/171p

1989年発売のファミコン用ソフト「MOTHER」の公式ガイドブック。攻略本というよりは、まるで旅行ガイドのような内容になっている。様々な分野の人が、各々の視点で「MOTHER」を語るページも読み応えあり。ゲーム自体を未プレイでも、ぜひ観光気分ページをめくって欲しい。

(芸術学科1年 冬夜)



## 『ひぐらしのなく頃に』 竜騎士07/講談社/シリーズ約350p

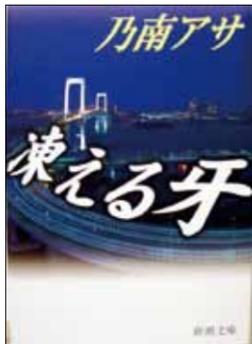
約10年も続いたメディアミックスも終わり、ようやく落ち着きを見せました。グッドエンドに見飽きてましたが、この話を読んでグッドエンドがすごく気持ちよく感じました。演出に関しても1つの編での前半と後半のギャップに驚かされました。さらに、その演出が伏線ということも驚かされた思い出があります。長くて残酷ですがその分、爽快で感動を覚えるものがあります。ようするにツンデレです。そんなツンデレな作品ですが、根底にはジジ抜きのような世界のあり方は認められないのかというのがあります。ジョーカーを押しつけて攻撃することでしか、バランスを保てないババ抜きの風土に主人公達、部活メンバーが挑みます。「ひぐらし」の本当の問いとは。そして、その解答とは。長い話ですが、興味があれば読んでください。

(心理教育学科2年 てふてふ)

『月の裏側』 恩田陸／幻冬舎／461p

九州の水郷都市が舞台。町には縦横無尽に水路が張り巡らされていた。その町で相次ぐ失踪事件。しかし、失踪したものは皆戻ってくるのだ。その時の記憶をなくして…。(※読後、雨が怖い・雨の日は思わず長靴を履いて寝たくなる・というかとりあえず水が怖い、などの諸症状が出る可能性があります。) あなたはまだ、盗まれていませんか？

(芸術学科1年 倉井)



『凍える牙』 乃南アサ／新潮社／520p

サスペンス＋狼＋疾走感＋男尊女卑＋意地で、冬の夜にお勧めな本が出来ました。物語の始まりは深夜のファミレス、そして物語のクライマックスは夜の首都高。場面が夜になるたび「オシマイ」がひたひたと忍びよってきます。物語が終わっても、登場人物達には書かれていない未来がまだあります。それも見たくなくなってしまうような引きこまれ続ける終わり方は、窓を開けた時に目覚めさせてくれる冷たい風のように。身を千切るほど冷たい風が熱を帯びる瞬間をお待ちください。

(総合文化学科4年 九代目)

『愛でもない青春でもない旅立たない』 前田司郎／講談社文庫／182p

THE 和光クオリティ！作者は和光大学卒の劇作家・前田司郎。物語の舞台は東京のはずれにある大学とその近辺…つまり和光大学と小田急沿線！僕・まなみ・山本・元宮ユキ、へんてこ大学生の恋愛四角関係を描いてるけどラブストーリーには程遠い。教員サロンとか部室棟とか学食とか和光あるある満載です♪

(総合文化学科2年 はなか)



『かもめのジョナサン』 リチャード・バック／五木寛之訳／ラッセル・マンソン写真／新潮文庫／140p

生きるためだけに生きる、人生の目的を持たないカモメの群れの中で、若いカモメのジョナサン・リビングストンは”より速く飛ぶ”という目的のために孤独な飛行を続ける。家族にもその情熱を理解されず、カモメの最高飛行速度に達したジョナサンを待っていたのは異端の烙印と群れからの追放だった。誰にも理解されずスピードだけを追い求めていたジョナサンが、新たな仲間と出会い愛と真理に目覚めて成長していく姿に感動した。

(総合文化学科3年 御膳)

『県庁おもてなし課』 有川浩／角川書店／461p

舞台は高知。県庁に新しく生まれた部署は「おもてなし課」。そこに配属になった掛水らは観光立県を目指し、振興企画の一環として地元出身の有名人に観光特使をお願いし、割引付きの名刺を配ってもらうことに…。しかし、特使の一人の人気作家に「バカか、あんたらは」と言われてしまう。その後、作家が指摘したような問題が起こり、作家に助言をもらうことに。「おもてなし課」が思い悩みながら成長していく物語です。

(芸術学科3年 彪)

『フィッシュストーリー』 伊坂幸太郎／新潮社／338p

時代を超えて、時空を超えて……。『届けよ、誰かに。頼むから』その声が、奇蹟を呼ぶ。表題作の『フィッシュストーリー』は2009年に映画化もされた作品。売れないバンドが最後に作った曲が、やがて地球を救っちゃう、的な、壮大なストーリー。最後に全部ひとつになるタイプの作品が、たまらなく好きである。バタフライ効果と呼ぶらしい。他に、「動物園のエンジン」「サクリフェイス」「ポテチ」の計4つの作品からなる短編集である。

(芸術学科2年 ぴぐめん)



『マテリアルゴースト』 葵せきな／富士見書房／シリーズ約300p (全6巻)

この作品は最初のページからハマってしまいます。自殺志願者が主人公という設定。いつも死ぬことばかり考えている。こんな男が主人公で良いのか？と思ってしまう。笑いあり涙ありの王道だが、さらにその斜め上をいくこの作品。ぜひ読んでみてください！

(総合文化学科2年 ドルハ)



『笑う招き猫』 山本幸久／集英社／288p

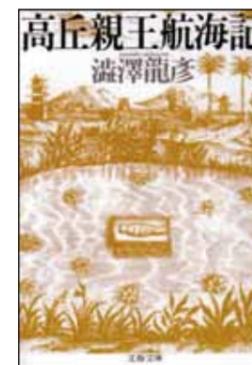
身長150cmのアカコと身長180cmのヒトミが漫才コンビを組んだ。三十路手前、恋人なしお金もなし、すべてにおいてギリギリの2人は、いつか大舞台に立てる事を夢見て日々奮闘する。小田急線沿いを舞台によく聞く地名が出てくるため、より親近感を得られるのではないだろうか。元気のいい一冊です、是非とも笑ってください。

(総合文化学科2年 微炭酸黒飴)

『高丘親王航海記』 澁澤龍彦／文藝春秋／253p

幻想的な世界観にエロティシズムと仏教的な死生観にささえられた、極上の一冊。どこまでが夢でどこからが現実なのか、判別し難い数々の冒険譚は澁澤氏のエキゾチックな夢そのもの。少年のような身軽さで進む、親王のイノセントな魂はもうひとりの澁澤龍彦であり、まさに集大成的な作品であるといえる。今作は彼が病床にあった晩年に書かれ、そのまま彼の遺作となった。その為だろうか物語の後半になるにつれ、死の予感がひしひしと伝わってきて痛ましい。ここまで遺作と呼ぶのに相応しい作品はないだろう。何度でも読み返したくなる。

(経営メディア学科2年 おじいちゃん)



『吉祥寺の朝日奈くん』 中田永一／祥伝社／307p

中田永一の恋愛小説集第二弾。二人の男女の交換日記から始まる「交換日記ははじめました！」や既婚女性との恋愛を描いた表題作の「吉祥寺の朝日奈くん」を含めた5編からなっている。前作の「百瀬、こっちを向いて」がどちらかという少女漫画チックなのに対して本作は落ち着いたストーリー展開となっている。しかし随所に仕掛けられたミステリ要素やラストの落とし所はさすがの一言。淡い余韻と爽快感を同時に味わうことができる一冊。

(総合文化学科2年 おっぱ)

『浅草色つき不良少年団』 (あさくさ・カラーギャング) 祐光正／文藝春秋／309p

関東大震災後の復興と混沌の時代、帝都一の大歓楽街浅草。そこでは震災孤児たちがそれぞれに不幸を背負いながらも逞しく生きている。そして、彼ら孤児たちが生きるため結成した不良少年団が三つあった。一つは変装の名人、「冬瓜の百合子」を頭目とする、「浅草紅色団」。一つは金のためならあくどいことも平気でやる「浅草黒色団」。そして他の二つに比べ規模は小さく十数人が集まっただけの「浅草黄色団」。この黄色団の頭目・神名火譲二は、紅色団の頭目である美少女・百合子の助けを借りて密室殺人事件や瓶詰めにされた少女と消失する家などの怪事件に挑む。全5編の連作ミステリー集。今は無き「幻の浅草」とそこに生きる少年少女を生き生きと描く。

(総合文化学科4年 無記名希望)



『「大菩薩峠」を読む』 今村仁司/筑摩書房/237p

中里介山が著した『大菩薩峠』は、世界一長い未完の時代小説である。1980年代のニューアカデミズムブームの旗手の一人であり、社会哲学・社会思想史が専門の著者が、『峠』を読む。漂泊の旅人、記号としての身体、分身・群衆、ユートピア、冷静なる愚者。これらの観点から読む事により浮かび上がる、『峠』の新たな一面。

(総合文化学科4年 美墮落先生)



『最後の喫煙者』 筒井康隆/新潮社/281p

筒井康隆と言えば私がまず思い浮かぶ作品はやはりこの「最後の喫煙者」だろうか。私自身が喫煙者であるから筒井の愛煙話などにも頷ける部分が多いかと。以前、筒井が雑誌のインタビューで語っていたのが「煙草を吸うほうが健康にいい」というのだ。私もこれにはドギモを抜かれたが筒井の話の話を聞くと納得してしまった。「私はタバコを吸わないととてもイライラしてしまうから、その分食事を取ってしまう。そうすると無論太ってしまい心臓に良くない」と語っており、なるほどと思ってしまった。実際は方便なのだが、彼の言葉には頷かずにはいられない魔力があるのだ。この小説にも強い魔力、言うならばアルコール中毒やニコチン中毒のように筒井中毒になってしまう魔力がある。中毒性の強い小説なのだ。皆も一度、筒井に酔いしれてみてはいかがだろうか？

(総合文化学科2年 エミーリエ)

『ささらさや』 加納朋子/幻冬舎/360p

これは妻子に不思議な事件が次々と起き、交通事故で亡くなった夫が他人の体を借りて助けに来るといふ本です。人と人の繋がりが温かく、心が温まる作品でした。最初は夫の交通事故の瞬間から涙を誘う設定でしたが、ユーモアを取り入れ軽いタッチで書かれており、すらすら読めました。

(経営学科1年 義経)

『おんぶにだっこ』 さくらももこ/小学館/219p

笑いや感動だけでなくさくらさんの新境地エッセイで、幼少期をテーマとしたまる子の設定以前のエピソードである。幼少期に著者が体験した切なさ、悲しみ、不安などが書かれており、まる子の時代の話よりも前の話だがへビーな作品となっている。だが、このような幼少期の体験は誰もが一度同じ道を通ったのではないだろうか。作品に書かれている幼少期に感じた感情は子どもならではのピュアな気持ちがあるからこそ感じるものだと思う。またこの本は当時の感じた感情がそのまま文章にされたような作風となっていて、読んでいてその時著者が感じた感情に共感できる。ちなみに著者は当時のことを思い出して、この作品を書いている途中に泣いてしまったこともあったそうだ。

(心理教育学科1年 さちよ)

『ボーナス・トラック』 越谷オサム/東京創元社/369p

ボーナストラックとは、音楽アルバムやシングルにおいて、本来のアルバム構成に含まれない追加曲を指す。お得感溢れるこのボーナストラックだが、人生にもボーナストラックがあったらどうだろうか。日常が退屈で、人生なんてウンザリだという方、ぜひこの本を読んでほしい。人生とはどういうものなのか各々見つけられるだろう。

(総合文化学科1年 幽兎)

『アミーゴ! 戦艦大和!!』 小林たけし/銀河出版/253p

「もし、戦艦大和が戦後も活躍していたら」と、いう設定の元に書かれた作品は多いが、「アルゼンチン海軍に編入されてフォークランド紛争に参戦する戦艦大和」を描いたのは僕の知る限りこの本のみである。予算不足の為、十分な近代化改装を受けられないままに出撃した「大和」と、寄せ集めの英機動艦隊との死闘の行方や如何に。

(総合文化学科1年 致遠)



おっぼ (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………2年
- ◆好きな本…………恋愛小説
- ◆好きな作家……乙一・中田永一・吉田篤弘
- ◆好きな音楽……フォークソングが好きです。
- ◆趣 味…………愛犬とのお散歩。

エミーリエ (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化
- ◆学 年…………2年
- ◆好きな本…………かもめのジョナサン・星屑ニーナ
- ◆好きな作家……福満しげゆき・道満明満・石黒正数・赤川次郎・星新一・筒井康隆・片山憲太郎・眉村卓・小松左京
- ◆好きな音楽……プランキージェットシティ・ミッシェル・ガン・エレファント・フリッパーズ・ギター・ART-SCHOOL・ハイロウズ・オナニーマシーン・エレファント・カシマシ・andymori・コーネリアス・筋肉少女帯・ニルヴァーナ・ELP・YES・セックスピストルズ・リパティーンズ
- ◆趣 味…………写真・漫画を描くこと♪・映画鑑賞・タロット・将棋・ネットサーフィン

戦慄のひざこぞう (ペンネーム)

- ◆学部学科…………経済学部経済学科
- ◆学 年…………1年
- ◆好きな本…………嵐が丘
- ◆好きな作家……エミリー・ブロンテ
- ◆好きな音楽……hawaiian6のMAGIC
- ◆趣 味…………ボクシング・体を動かすこと全般。でも、サーフィンはネット派。

倉井 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部芸術学科
- ◆学 年…………1年
- ◆好きな本…………麦の海に沈む果実
- ◆好きな作家……恩田陸
- ◆好きな音楽……Sound Horizon・LAST ALLIANCE
- ◆趣 味…………散歩・お昼寝・お絵描き

ドルハ (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部総合文化学科
- ◆学 年…………2年
- ◆好きな本…………赤毛のアン
- ◆好きな作家……谷川俊太郎
- ◆好きな音楽……ボーカロイド
- ◆趣 味…………ネットラジオ

さちよ (ペンネーム)

- ◆学部学科…………現代人間学部心理教育学科
- ◆学 年…………1年
- ◆好きな本…………さくらももこさんのエッセイ集
- ◆好きな作家……さくらももこ
- ◆好きな音楽……スガシカオ・椎名林檎 東京事変
- ◆趣 味…………TSUTAYAで借りたDVDを観る(映画など)

冬夜 (ペンネーム)

- ◆学部学科…………表現学部芸術学科
- ◆学 年…………1年
- ◆好きな本…………ネコや風景の写真集・画集・童話・怪談・雑学
- ◆好きな作家……宮沢賢治・久美沙織・長野まゆみ・他、多数
- ◆好きな音楽……cali≠gari・Rotten Blotch・久石譲・他、かなり多数
- ◆趣 味…………睡眠摂取(5度寝はしたい)・光合成・路地のネコ探索

勝手に

# ポップ&らくがき大賞!



本棚を企画する度につけているメンバーお手製のポップ。ここでは、独断と偏見で選び出したポップに、勝手に賞をつけました。思案しながらつけられた、メンバーの個性が光るポップに図書館利用者の心は動いているでしょうか？また、LRP ルームに何気なく描き散らされている素敵ならくがきたちにも注目しました！

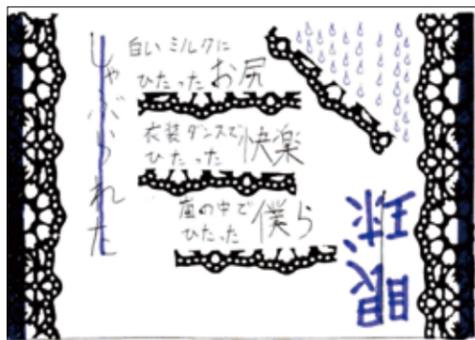
それは見ればわかるかも…!?



実は年明け前に書いたで賞



ボディデザイン賞



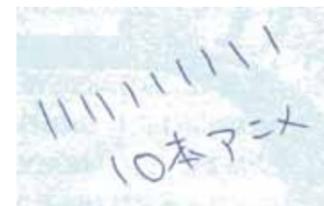
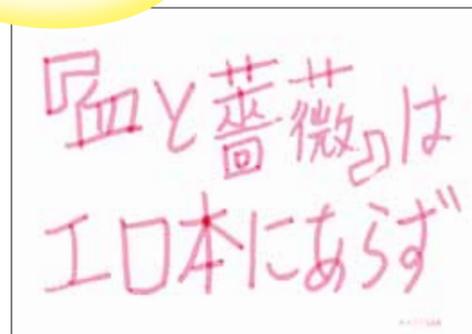
これはあの懐かしの…!?

喜んで☆



本棚の扉で賞

エロ本じゃないなら、読まねえよ!!



↓シリーズらくがき。見ものですねえ~



新しい趣味始めま賞





スバリ本絶介賞

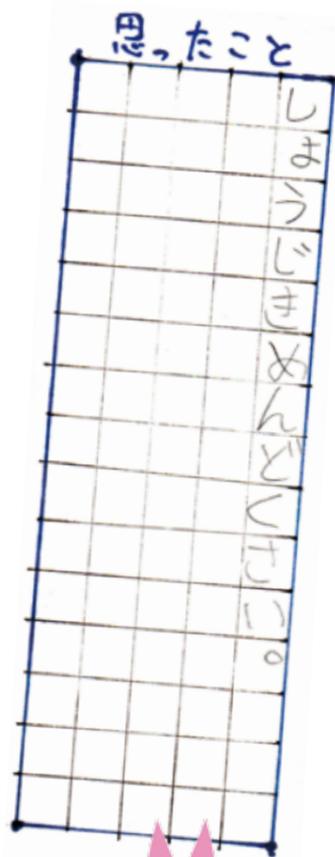


かわいいけど...切ないね。



本文そのまま賞

名前はまだない



遊兎 (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部総合文化学科
- ◆学 年……1年
- ◆好きな本……冒険・恋愛・娯楽・雑学・ファンタジー・アクション
- ◆好きな作家……橋本紡・茅田砂胡・越谷オサム
- ◆好きな音楽……友人オススメが好き。ジャンルは問わない。
- ◆趣 味……スイーツを食べる事・無駄に寝ること・暇を持て余すこと

義経 (ペンネーム)

- ◆学部学科……経済経営学部経済学科
- ◆学 年……1年
- ◆好きな本……『サヨナライツカ』
- ◆好きな作家……米澤穂信
- ◆好きな音楽……高橋優 (ジャンルだと邦楽)
- ◆趣 味……映画鑑賞

致遠 (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部総合文化学科
- ◆学 年……1年
- ◆好きな本……ジパング (栗田教行、林海象作)
- ◆好きな作家……ミヒヤヘル・エンデ
- ◆好きな音楽……アニソン、ゲーソン、軍歌、懐メロ
- ◆趣 味……ごろ寝

読書君 (ペンネーム)

- ◆学部学科……表現学部総合文化学科
- ◆学 年……1年
- ◆好きな本……あなたの人生の物語
- ◆好きな作家……テッド・チャン
- ◆好きな音楽……クラシック
- ◆趣 味……ワクワクすること。

おじいちゃん (ペンネーム)

- ◆学部学科……経済経営学部経営メディア学科
- ◆学 年……2年
- ◆好きな本
  - 【小説/随筆】
  - 「少女地獄」夢野久作・「銀の匙」中勘助・「陰翳礼讃」谷崎潤一郎・「高丘親王航海記」澁澤龍彦・「夏の闇」開高健
  - 「冥途・旅順入城式」内田百間・「晩年」太宰治・「死者の奢り・飼育」大江健三郎・「夫婦茶碗」町田康・「イン・ザ・プール」奥田英朗・「墨東綺譚」永井荷風・「みずうみ」川端康成・「あらゆる場所に花束が…」中原昌也「小僧の神様・城の崎にて」志賀直哉・「芋虫」江戸川乱歩
  - 【漫画】
  - 「綿の国星」大島弓子・「蟲師」漆原友紀・「ドロヘドロ」林田球・「四丁目の夕日」山野一・「アタゴオル玉手箱」ますむらひろし「茄子」黒田硫黄・「動物のお医者さん」佐々木倫子・「きのう何食べた？」よしながふみ・「エリア88」新谷かおる「ヨコハマ買い出し紀行」芦奈野ひとし・「GUNSLINGER GIRL」相田裕・「観用少女」川原由美子・「ARIA」天野こずえ「レモンハート」古谷三敏
- ◆好きな作家……町田康・中島らも・大槻ケンヂ・みうらじゅん・江戸川乱歩・夢野久作・中勘助・内田百間・谷崎潤一郎・三島由紀夫・大江健三郎・寺山修司・萩原朔太郎・中原昌也・奥田英朗・澁澤龍彦・村上春樹・太宰治・永井荷風・開高健・志賀直哉・倉橋由美子・宮沢賢治・川端康成・ヘルマン・ヘッセ・佐々木敦・菊地成孔・よしながふみ・ますむらひろし・芦奈野ひとし
- ◆好きな音楽……ポストロック (トータス周辺)のシカゴ音響派・エレクトロニカ (ワープレコーズ周辺)・オルタナティブロック (90年代グランジ)・Jロック (80年代日本のロック)・アニソン・ノイズ・シューゲイザー・ジャズ・アンビエント・ヒップホップ・ハウス・メタル・プログレ等々…邦楽、洋楽などの枠組みに固執せず、様々なジャンルから自分の感性に合うものを日々探求していくことが、我が音楽道です。
- ◆趣 味……音楽・ライブ・映画・アニメ・小説・漫画・散歩

今年を  
振り返って…



本棚の企画には参加出来たが、ミーティングにあまり出る事が出来ず、申し訳ない気持ちで一杯である。

(総合文化学科4年 美墮落先生)

ピブリオバトルを始め、いろいろな場面で様々な人に協力していただき、助けられた1年でした。感謝しています。(特にスタッフ!ありがとう!)

自分のやりたいことは少しでもやらんと損だなあ、と思いつつ、「これでもいいや」とチカラを抜いて過ごせたらいいです。来年度もよろしくです。

(心理教育学科2年 猫子)

今年は四年最後の年のわりに活動に余り携わることができなかったのが少し残念でしたが、ギリギリまで自分の目指す活動を(やりたい放題)やろうと思っています。

今年は新入部員も多く、例年とはまた違った雰囲気と活動内容で大変でしたが、ソレはソレでよい経験になったと思います。

(総合文化学科4年 無記名希望)

昨年度と違い、かなり気の抜けた私でした。何もしていないに等しい。しかし、もう私にがんばるほどの力は残っていない……ぐふっ。(芸術学科2年 びくめん)

今年度の後期から参加しました。ですのでLRPに関してはまだこれと言って感想がないのですが、本を嗜み、何よりも図書館という場所、空間が好きなので、来年度は積極的に活動していきたいと思っています。

(経営メディア学科2年 おじいちゃん)

メンバーが紹介する本を見て、こんな本もあるんだーとか、タイトルが浮かばない本に出会えたり、本を通じた出会いがあると思いました。まあ、そんな私は幽霊ですが。(心理教育学科2年 てふてふ)

和光の大学図書館は落ち着く和む癒される、素敵なところ。どんなに授業がしんどくても、のほほん出来る空間で、ゆるゆる時間が流れてゆく。自分の居場所、だいすきー。

(総合文化学科2年 はなか)

反省点の多い一年ですが、そのぶん学ぶことの多い年でした。

(総合文化学科3年 御膳)

卒業制作にかまけて今年はLRPの活動をさぼりがちになってしまった。

来年があれば挽回したいものの、残念なことに今年で最後。留年しないのでね☆せめてあと少しは真面目にやろうと思う。

それぞれがやれることやれた一年かもね。いんでない?

(総合文化学科4年 九代目)

一年間ありがとうございました。

(芸術学科2年 みつこ)

今年もほとんど受け身で過してしまいました。

(芸術学科3年 彪)

今年も新メンバーが加わり、雰囲気も少し変わり、部室がお引越しし、いろいろ転機がありましたが、LRPルームが居心地の良い場所というのは変わりません。ありがたいです!そして、少しずつではありますが、昨年度よりもCounterの編集(つまりパソコン作業です…)をお手伝いできるようになったことが嬉しいです。来年度も日進月歩で頑張りたいと思います。

(芸術学科2年 夕陽)



2年次は体調不良や他のサークルの仕事、授業、個人の事情などで活動や会議にあまり参加する事が出来なくメンバーに迷惑ばかりかけてしまった。1年生とも、もっと沢山話したかったです。でも、一人で図書館展を見に行ったり図書館の本の整理のアルバイトも出来て少しは良かった。これからは、その少しの良かったを、とても良かったに変えられるように心機一転、心を入れ替えてLRPの活動に積極的に参加しようと思う。活動がない日も顔を出そうと思う。これからも宜しくお願いします!

(芸術学科2年 キセキ)

福島第一原発4号機の使用済み核燃料プールがメルトダウンを免れた事。それが全て。

(総合文化学科1年 致遠)

企画に合った本を選書したり、POPを書いたり、他にも様々な未知との遭遇がありました。

(芸術学科1年 冬夜)

初めての大学生活に四苦八苦し、ドタバタした一年となりました。LRPの企画は、慣れない大学生活に押され気味で、あまり積極的に関わることには出来ませんでした。

しかし、企画に参加して得たものは多く、今後この経験を活かす機会は必ずあると思います。

(総合文化学科1年 幽兎)

2011年は自分で本棚を作ったお!

(総合文化学科2年 エミーリエ)

私は今年遅れて入りました。遅れて入ったので馴染めなと思ってました。しかしそんなことはなく、すぐに馴染めました。サークル行事も楽しく人の本の面白さなど、新しい分野に挑戦することができました。

(総合文化学科2年 ドルハ)

あまり参加出来ずに申し訳なかったのですが、先輩方がとても優しくて泣けました。専らポスターを描いていた記憶ばかりあるのですが、ポスターを描くのが難しいんだなってつくづく思いました。お絵描き出来れば良いと言う問題でもない。当たり前か。芸術学科として、もっと勉強して、人に見てもらえるポスターを描けるようになりたいです。本ももう少し読みたい!

(芸術学科1年 倉井)

新しい部室が快適すぎて住みたい。

(総合文化学科2年 微炭酸黒鉛)

2011年は新メンバーが沢山入ってくれたり新しい部室がオープンしたりととても賑やかな一年になりました。来年度は三年生として後輩の活動を見守りながらサポート出来たらな、と思います。部室は開放していますので、LRPの活動に興味がある方はいつでも見に来て下さいね!

(総合文化学科2年 おっぼ)

LRPの企画には、あまり参加できませんでしたが、LRPの皆様はとても温かく、良い経験となりました。次年度は、企画に参加できなかった点を反省し、積極的にLRPの活動に参加していきます。

(総合文化学科1年 読書君)

大学の中で先輩方と交流することができた一番のきっかけでもあり、良い経験ができて楽しかったです。

(心理教育学科1年 さちよ)

一言で言い表すと楽しかったです。他の人が選んだそのテーマに沿った本も読め、自分のオススメしたい本も紹介でき選書の時はワクワクした回もありました。(今年は企画を考えたりしなかったのですが、来年度は企画を考えたり、活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。)

(経済学科1年 義経)

とにかくザキヤマがうるさかった。

(経済学科1年 戦慄のひざこぞう)

